

2017

JAしまねびより

7

July Vol.16

特集 JALしまね 第3回通常総代会開催



第3回

通常総代会特集

J Aしまね第3回通常総代会を6月25日、島根県民会館大ホールで開催。総代会資料から平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の基本方針など主な内容についてお知らせします。

2017



議長団（杉原総代（左）、栗栖総代）



あいさつする竹下正幸代表理事組合長

総代の皆様へ
当日は、遠方より、或いはご多忙の中、ご出席いただき、心から御礼を申し上げます。
そして、全ての総代の皆様へ、統合からの任期中、様々な面でお世話になり、改めて感謝を申し上げます。
今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当日は、総代定数1,000人（欠員15人）に対し、962人（本人出席579人、委任状13人、書面出席370人）の出席。議長団に、杉原定氏（斐川地区本部）、栗栖卓三氏（いわみ中央地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「JAしまねが発足して3年目を迎えた。一体感を一層強固なものとして、組合員・地域住民から選ばれ、頼られ、必要とされるJAとなれるよう改革を進めていく」とあいさつ。来賓の藤原孝行島根県副知事から、「農業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しているが、JAしまねでは水稲肥料農薬価格の低減や米の買取制度の導入など、積極的に自己改革を実践している。今後も農業者所得の増大のための取り組みを続けていただくことに期待している」との溝口善兵衛島根県知事の言葉をいただきました。

また、JAしまねの発足以来、組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。



平成28年度 事業報告

平成28年度は、安倍内閣のもとデフレ脱却の兆しは見えつつあるものの、経済成長率は依然として低迷状態にあり、設備投資や個人消費等の改善には鈍さも見られるほか、マイナス金利の影響もあり、先行きの景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では英国が国民投票によりEU離脱を決定し、米国では政策運営能力が未知数とされるトランプ政権が発足するなど、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国トランプ大統領の就任により現政権でのTPP発効は難しい状況となっています。今後、FTA（日米自由貿易協定）交渉や、EPA（日EU経済連携協定）交渉の動向も注視し、日本の「食」「農」「協同組合」の重要性をアピールする運動を引き続き展開していく必要があります。

組織情勢では、平成28年4月に新農協法・政省令・監督指針が施行されました。また、農協法附則において、政府は准組合員の事業利用規制の在り方について、5年間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、

検討を加え結論を得ることとしています。

JA自己改革については、農協法5年後検討条項をふまえ、JA全国大会決議である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として取り組んできましたが、大会実践期間である平成31年3月までに着実に実践し、十分な成果を上げ、組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成28年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」初年度として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,259百万円、購買品供給高が34,092百万円、貯金残高が994,007百万円、貸出金残高が308,072百万円、長期共済保有高3,659,406百万円となりました。

財務状況については、内部留保に努め、自己資本比率は15.21%となりました。

収支面については、事業利益が1,050百万円、経常利益は2,014百万円となり、当期剰余金は1,295百万円となりました。主な事業活動と成果の詳細については次ページのとおりです。

■貯金残高	994,007百万円
■貸出金残高	308,072百万円
■長期共済保有高	3,659,406百万円

自己資本比率 **15.21%**

■事業利益	1,050百万円
■経常利益	2,014百万円
■当期剰余金	1,295百万円



組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	66,407	918	2,460	64,865	
	法 人	農事組合法人	193	6	3	196
		その他法人	191	14	2	203
	計		66,791	938	2,465	65,264
准組合員	個 人	164,553	4,207	3,276	165,484	
	農 業 協 同 組 合	1	0	1	0	
	農 事 組 合 法 人	24	1	1	24	
	そ の 他 の 団 体	1,889	26	26	1,889	
	計	166,467	4,234	3,304	167,397	
合 計		233,258	5,172	5,769	232,661	

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	17,180,472	319,811	625,227	16,875,056	
	法 人	農事組合法人	25,872	362	506	25,728
		その他法人	31,765	3,879	2,309	33,335
	計		17,238,109	324,052	628,042	16,934,119
准組合員	個 人	5,569,760	307,335	238,378	5,638,717	
	農 業 協 同 組 合	3,650	0	3,650	0	
	農 事 組 合 法 人	1,785	11	80	1,716	
	そ の 他 の 団 体	91,987	4,051	839	95,199	
	計	5,667,182	311,397	242,947	5,735,632	
処分未済持分		157,964	128,177	157,964	128,177	
合 計		23,063,255	763,626	1,028,953	22,797,928	

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,797,928,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区 分	項 目	平成27年度	平成28年度	
財 務	事 業 利 益	917	1,050	
	経 常 利 益	1,878	2,014	
	当 期 剰 余 金	1,266	1,295	
	総 資 産	1,091,408	1,104,465	
	純 資 産	78,907	77,982	
信用事業	貯 金	978,185	994,007	
	預 金	480,794	498,551	
	貸 出 金	307,875	308,072	
	有 価 証 券	国 債	89,969	82,394
		そ の 他	88,998	88,894
共済事業	長期共済保有高	3,779,540	3,659,406	
	短期共済新契約掛金	10,227	10,267	
購買事業	購買品供給高	35,004	34,092	
販売事業	販売品販売高・取扱高	36,512	38,259	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第3事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,040,764,952
2. 剰余金処分額	1,551,763,041
(1)利益準備金	260,000,000
(2)任意積立金	952,000,000
農業振興積立金	150,000,000
農業災害積立金	100,000,000
米価格変動積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	50,000,000
信用事業システム開発積立金	50,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	152,000,000
施設等更新積立金	50,000,000
(3)出資配当金	339,763,041
3. 次期繰越剰余金	489,001,911

(注1) 出資配当金は年1.5%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額64,757千円が含まれています。

主な事業活動と成果

【農業振興】

JAしまね農業振興支援事業において平成28年度から新たに「魅力ある産地づくり支援事業」を新設し、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の重点事項である園芸推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援、島根デラウェア改植促進支援をメニュー化し、農業生産額の拡大、農業所得の増大に取り組みました（支援額5億8百万円）。

【販売事業】

<米 穀>

米穀は平成28年度の島根県における水稻の作況指数が104（前年98）となり、主食用予想収穫量は91,300トﾝで前年比3,300トﾝの増加となりました。また、28年産米から島根米の買取制度を導入し、集荷数量は平成29年3月末現在で40,572トﾝとなり、前年を上回る結果となりました。



アグリミーティング2016

<園 芸>

島根ぶどうが共販60周年を迎え、販売面で積極的に推進した結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。



<畜 産>

品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組むとともに、JAしまね農業振興事業により繁殖雌牛増頭運動の実施や販売強化に努め、平成28年度の子牛市場上場頭数が5,231頭（前年対比100.2%）となり、4年ぶりに前年を上回る結果となりました。



【資 材】

肥料・農薬・飼料について、水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めました。

【信 用】

島根県産農畜産物プレゼントキャンペーンを実施し、貯蓄推進に併せ農畜産物消費拡大に取り組むとともに、貸出金では認定農業者支援資金により農業担い手支援を行いました。

【共 済】

契約者へのフォロー活動や、JAしまねこども倶楽部を通じた次世代対策を通して、地域への安心満足の提供と信頼の獲得に取り組みました。

【くらしの活動】

豊かでくらしやすい地域社会の実現のため、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育（アグリキッズ）などを通じた「生きがい、ふれあいづくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。これらの活動が評価され、平成29年2月に「第67回家の光文化賞」を受賞することができました。



あぐりスクールでの牧場体験



JA女子大学



家の光大会

平成29年度 事業方針

農業振興

方針

平成28年6月に開催した第2回通常総代会で決議された「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた農業振興に係る具体的な行動計画や数値目標に沿って、JA役員と組合員が一体となって取り組みを進めます。

計画達成に向け、営農指導体制の強化や担い手支援体制の確立、JA独自の農業振興支援事業による生産基盤強化等をJAとして行うことに合わせ、県や市町村と連携した地域農業の振興により、産地活性化と農家の手取り最大化の実現に努めます。

特に、平成30年産からの農政改革に向けて、島根県産米の生産方針について県再生協議会を中心に、県、市町村、地域再生協議会と連携し、農家所得の向上につながる米生産計画、新規需要米による生産調整等をJAも一体的に進めます。

また、島根農業の中心的な担い手である特定農業法人、集落営農、大型担い手農家等への農地集積による効率的農業の普及と会計支援システムの更新を図り、記帳代行やデータ提供による組合員の利便性向上と経営分析による経営の安定化に努めます。

継続性のある水田営農の実現に取り

組むとともに、園芸5品目と和牛繁殖産地再生による複合的な営農形態を通じた農家所得向上を重点的に取り組みます。

重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ② 営農指導体制整備
- ③ 担い手支援
- ④ 農業経営管理支援
- ⑤ 労災保険加入支援
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業

全般

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性組織、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員の多様なニーズについて、アンケート調査等を通じて把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動の質の向上と参加

者の満足度の向上に努めます。

販売事業

しまねブランド商品として県産農畜産物の販売力強化に向けて取り組むとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実にも努めます。

信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡

大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

また、マイナス金利政策導入により信用事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら本店・地区本部が一体となって事業戦略を展開し、JA信用事業基盤の維持・拡大に取り組みます。

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② 信用事業の効率化
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

共済事業

組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組みながら、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

JAしまねの発足以来、役員として組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力され、新生JAの礎を築かれた退任役員の方々の功績を讃え、功労者表彰を行いました。



功労者を代表して
あいさつする萬代宣雄氏

当日出席された功労者の方々
(左から萬代宣雄氏、堀川栄市氏、米原稔氏、周藤昌夫氏、橋本正嗣氏、佐々木勘次氏、長岡昌利氏、足立幹男氏、築橋良治氏)

功 労 者 表 彰 名 簿

平成28年6月退任の皆様

在任時の役職

選出地区等

田中彰	服部千津子	岡崎時明	築橋良治	中島一	武田俊吉	石飛正登	足立幹男	長岡昌利	長崎勉	杉谷英夫	長廻勤	松浦嘉昭	佐々木勘次	戸谷宣義	橋本正嗣	周藤昌夫	米原稔	堀川栄市	萩尾秋光	内田孝志	玄行政美	萬代宣雄
監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事組合長
本店(女性協)	西いわみ	島根おち	斐川	出雲	出雲	出雲	出雲	雲南	雲南	くびき	くびき	いわみ中央	くびき	西いわみ	斐川	出雲	隠岐どうぜん	隠岐	雲南	本店	出雲	

雲南

空き店舗活用 地域住民の憩いの場

雲南市三刀屋町中野地区にある中野の里づくり委員会(深石広正会長)による直売所「笑(え)んがわ市(三浦由美子代表)」が6月8日に6周年を迎え、約70人が訪れました。売店の横にはサロンが併設されており、地元スタッフや利用者から持ち込まれた手料理や、コーヒーなどが200円で振舞われます。毎週木曜日に営業しており、地域住民の憩いの場となっています。

2010年10月に中野地区唯一の商店だった、旧JA雲南中野店舗が閉店。地元の女性活動グループが、JAの空き店舗を利用して地元の野菜や特産のこんにゃくを取り扱えないか提案し、同委員会や中野地区のJA女性部、地元有志が集まり、産直市運営を企画しました。

三浦代表は「スタッフを含めた全員が楽しんでいるからこそ、続けられています。この雰囲気大切にしたいです」と話しました。



賑わいを見せるサロン

隠岐

島外視察研修で 椎茸栽培技術の向上を図る

隠岐農産物生産者協議会の椎茸部会は6月14日～15日の2日間、椎茸栽培技術の向上などを目的として島外視察研修会を行い、会員やJA職員など12人が参加しました。

研修初日には、鳥取市にある「日本きのこセンター」が運営管理している椎茸ほだ場を、同センターの場長と所長の説明を受けながら視察しました。会員らは、椎茸栽培の方法についてなど活発に質問していました。その後、JA全農主催の生産者交流会に出席し、椎茸生産の楽しさや厳しさについて意見を交わしました。

2日目には、鳥取県の県民体育館で開催されたJA全農主催の乾椎茸品評会に参加しました。同部会の会員も出品しており、「こうしん中葉中肉の部」で宇野武夫さんが全農理事長賞を受賞しました。品評会には全国から高品質の乾椎茸が多数出品されており、今後の椎茸栽培の参考となりました。



椎茸ほだ場で説明を受ける参加者

くにびき

宍道支店で年金感謝デーに トラック市が開催！

くにびき地区本部宍道支店とくにびき産直出荷者協議会宍道支部は、6月15日の年金感謝デーにあわせて、軽トラックの荷台で野菜や果物を販売する「トラック市」を同支店前で開きました。夏野菜や加工食品を販売し、来店客は思い思いに買い物を楽しみました。



来店客が増える年金感謝デーに、地元農産物のPRに繋がってもらおうと、昨年から隔月で開催。野菜の販売以外にも、くにびき女性部宍道支部の部員が支店内にカフェを設けて、来店客をもてなします。

当日は、同協議会宍道支部の会員7名がナスやトマト、加工食品を持ち寄り、トラックの荷台に陳列。開店と同時に多くの人を訪れ、1時間もかからずに商品が売り切れました。また、特設カフェではリングジュースとショウガで作った「リングショウガかん」(家の光2月号参照)と抹茶を振る舞い、訪れた客は「お茶がおいしかった」と満足そうでした。同



支部の杉井キミエ部長は「多くの人に喜んでもらえて嬉しい。今後もいろいろなもてなしを考えたい」と話しました。

やすぎ

いもイモ★大作戦今年も好評

やすぎ地区本部が安来市穂日島町の中海干拓地で食育と地産地消の推進を図ることを目的に毎年開催している、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」が今年も好評です。

6月4日に市内外から40家族、約130人が参加し、JAの営農指導員から説明を受けながら一区画10本の「べにはるか」の苗を定植していきました。今年によりサツマイモについて知ってもらおうと、栽培管理の他、品種の特徴や苗の説明などを詳しく掲載したサツマイモ栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

親子で参加した女性は「去年は収穫だけだったが、子どもが楽しんでいたのが今年は定植から挑戦した。秋の収穫が楽しみ」と話しました。今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、秋には収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



斐川

ぶどう集荷所開所式を開催

斐川町ぶどう生産組合は6月9日、出雲市斐川町の中央集荷所で29年産の斐川ぶどうの集荷所開所式を行いました。29年産は昨年より早い出荷開始となり、品質も良いものとなっています。

同生産組合の矢野恵司組合長は「難しい天候の中、質の良いぶどうが出荷できた。梅雨に入り、これからはより雨との戦いとなる。今年は斐川ぶどう共同販売60周年を迎える年であり、体に気をつけて農家の方々が笑顔で良かったと言える年にしたい」と挨拶しました。

また、斐川町のぶどうをPRしてもらうため、出雲市役所斐川支所の青木昭支所長と斐川地区本部の山根善治本部長へ斐川産デラウェアを贈りました。



斐川産ぶどうを受け取る青木支所長(左)と山根本部長(左から2人目)

隠岐 どうぜん

保育園児が田植えの見学会

隠岐どうぜん地区本部の海士支店では6月12日、保育園児を対象とした田植えの見学会を行い、海士町のけいしょう保育園の年長組19人が参加しました。

この見学会は、次代を担う子どもたちに食の大切さなどについて学んでもらう食農教育の一環として毎年実施しており、4月の種まきの見学に続いて、今回は田植えの見学を行いました。

当日は天候に恵まれ、営農指導員の本多安則職員から田植え作業について説明を受けた後、同職員が所有する圃場で乗用田植機による実際の田植えの様子を見学しました。子どもたちは田植え作業よりも田植機に興味津々の様子で、田植機についてのいろいろな質問をしていました。

秋には稲刈りと籾摺りの見学会も予定しています。



田植の様子に興味深く見つめる園児たち

石見銀山

あぐりスクール生き物調査

石見銀山地区本部は6月17日、今期2回目の「あぐりスクール」を開きました。11家族27人が参加し、前回植えた野菜や米の生育状況を観察した後、農事組合法人やまべの水田で生き物調査をしました。当日はドローンを使った空撮をしました。動画は同地区本部農産課のフェイスブックに掲載する予定です。

網とバケツを手手に田んぼに入り、カエルやイモリ、ミズカマキリなど約20種類の生き物を捕まえ、班ごとに発表しました。参加者は「いっぱい生き物を見つけられて楽しかった」「見つけるのが難しかった」「田んぼの中がぬるぬるだった」など感想を話しました。

生き物調査を終えると、JAしまね石見銀山女性部大代支部が用意したエコロジー米のおにぎり、大田産の具材を使った豚汁を味わいました。



生き物調査をする参加者

出雲

出雲コーチン利用促進協議会設立 地鶏のブランド化を目指して

絶滅の危機に瀕している地元の鶏「出雲コーチン」を保存し、ブランド化を図るため、出雲コーチン利用促進協議会が設立されました。島根県畜産技術センターで6月15日、設立総会が開かれ、JA、行政機関、島根県立出雲農林高校、畜産農家ら30人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていましたが、その後飼育数は減り、一時は数羽にまで減少。農林高校の生徒がこの状況を知り、研究課題として増殖への取り組みを開始しました。そこに地鶏の生産販売に意欲的な市内の畜産農家加わり「出雲コーチン」復活に向けた活動が始まりました。平成28年7月に畜産技術センター、農林高校、畜産農家、JAで第1回出雲コーチン利用促進打合せ会議が開かれ、その段階で確認できた「出雲コーチン」は17羽。順調に飼育され、現在は120羽以上に拡大しています。

平成29年度は、原種の維持・利用のルール化の検討や、地鶏生産のための交配種選定などに取り組む計画です。産官学連携で、「出雲コーチン」を軸としたブランドの確立を目指します。



畜産技術センターふれあい動物広場の出雲コーチン

西いわみ

益田市長へ シャインマスカットを贈呈

西いわみ地区本部ぶどう部会（部会長福原博）は6月5日、益田市役所を訪れ益田市のPRに役立ててほしいと山本浩章市長にシャインマスカットを贈呈しました。

同部会の福原博部会長、同部会青年部の岩崎崇司部長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が益田市長と面会し、超早期加温栽培を行ったシャインマスカットを手渡しました。

シャインマスカットを試食した山本市長は「口の中でシャインマスカットの香りが広がってとてもおいしいですね」と感想を話しました。

全国では長野県、山梨県、岡山県に次いで、5月25日に初出荷が行われ、また5月の出荷は島根県が2006年にシャインマスカットを導入以降初めての事となりました。



山本市長（左）にシャインマスカットを手渡す福原部会長

本店

アグリレディース大学を開催

JALまね女性部は6月6日～8日の3日間、「第11回アグリレディース大学」を開催し、県内各地から女性部員など29人が参加しました。

この企画は、女性部員が地域や世代を超えて交流・情報交換することにより仲間意識の輪を広げて親睦を深めるとともに、見識を広め女性部活動の活性化を図ることを目的に2年に1回開催しています。

11回目となる今年度は九州を視察先に選び、熊本地震被災地を訪れて震災への備えや復興支援について学ぶとともに、防災に対する意識を高め、万一のための女性組織活動をすすめる契機としました。

JALまね女性部は今年4月に県単一組織として発足しました。今後も様々な活動を通して仲間づくりの輪を広げ、女性部の活動の基本である「食と農を基軸とした活動」などの充実をはかっていくこととしています。



被災した熊本県の藤本牧場で藤本亨大代表取締役（左）から説明を聞く女性部員

島根おおち

スーパー「スパーク」 役職員が管内産地を視察

島根おおち地区本部米穀農産課は、6月27日、広島市内のスーパー「スパーク」の役職員6人を招き、出荷している野菜について理解と関心を持ってもらうため管内の農地を視察案内しました。

「スパーク」とは、野菜の出荷をはじめ、11月から約1ヶ月間で管内産のもち米の宣伝のため職員数人が交代で店舗前で杵つきもちの実演販売を行うなど30年以上前から交流しています。

視察したのは、出羽地区にあるミニトマト農家や高原地区にある農事組合法人星ヶ丘の中ナス、白ネギの圃場と島根おおち地区本部の野菜の集荷場、米倉庫、牛舎といった施設などです。

スパークの役職員は「産地を実際に見ることが出来て非常によかった。直接農家と情報交換し、生育を確認することができ、大変勉強になった」と話されました。



いわみ中央

かわピコまつり盛大に開催！

江津市後地町の道の駅「サンピコどうつ」で6月17日～18日の2日間、「かわピコまつり」が開催されました。「サンピコ」は海彦（うみピコ）、山彦（やまピコ）、川彦（かわピコ）の三人に由来しており、それぞれ海の幸、山の幸、川の幸を象徴しています。この祭りではその名のとおり、清流「江の川」の幸である若鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き、川魚の天ぷらなどの販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、18日には、同道の駅内の産直市場のレジ通過者が100万人を突破し、100万人目となった江津市江津町の主婦中谷葵さんに記念品が送られました。いわみ中央地区本部からは井上宗治本部長が「石見白いるかの舞（コシヒカリ10kg）」を記念品として贈呈しました。

中谷さんは、若鮎のつかみ取りを楽しみにご主人と長男とともに訪れていて、「山口県岩国市から転居して6月1日に江津市民になったばかりで感激しています。産直市場は野菜も魚介も新鮮で安心できるので、今後も利用したいです」と喜んでいました。



井上本部長（右）から記念品を受け取る中谷さん家族

「しまね夏の花」品評会開催

とき

平成29年

7/29(土)・30(日)

29日(土)

一般展示 9:00~16:00
表彰式 9:30~10:00

30日(日)

一般展示 9:00~15:00
※展示の即売も行います。

ところ

ゆめタウン出雲 東館太陽の広場 (出雲市大塚町650-1)

「私たちが選んだ花」賞を決定!!

ご来場の際、一番良いと思われた花に投票してください。

一番多かった作品に投票された方の中から抽選で粗品をプレゼント!!

無料で
体験!!

親子フラワーアレンジメント教室開催!!

親子で島根の花を中心にしたフラワーアレンジに挑戦してみませんか?

(公) 日本フラワーデザイナー協会島根県支部が講師!

作った作品とともに「しまねっこ」と記念撮影!

※「しまねっこ」の来場は7月30日回のみです。

両日、午前・午後各1回
各10組まで

主催: 島根県農業協同組合・島根県花き生産者協議会

後援: 島根県・島根の花振興協議会・ゆめタウン出雲・しまね花商組合・JAアグリ島根

■この件に関するお問合せは JALしまね 米穀園芸部園芸課 TEL:0853-25-8694

農林大オープンキャンパス 「緑の学園」参加者募集

見て触れて農林大の風・土・緑を感じてみませんか!

7/28(金)・8/2(水)・6(日)・21(月)

大田市と飯南町の両キャンパスで開催



- 農林大学校では学生募集の一環として、高校生をはじめ、本校の学習・研修に興味を持っている方を対象に、オープンキャンパス「緑の学園」を開催します。
- 体験実習は、有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛・林業コースがあります。
- 各実施日の7日前までに申し込みが必要です。
- 詳しくは農林大学校のホームページ、または島根県立農林大学校 (TEL0854・85・7012) まで。

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受け付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1

Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp

部署名 監査部

受付 監事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

平成29年度 くにびき地区本部 総代説明会開催!

くにびき地区本部総代説明会を6月17日、営農総合センターで開催しました。
くにびき地区本部としての平成28年度の事業報告のほか、平成29年度の事業計画、基本方針など主な内容について報告します。

当日は総代数140名(欠員3名)のうち、111名が出席。



総代説明会の様子

冒頭で、出席者全員によるJA綱領の唱和の後、山根盛治副組合長が「職員による不祥事が発生し、ご迷惑とご心配をお掛け致し深くお詫び申し上げます。二度とかわかる事態を引き起こさないために、なお一層法令遵守の徹底を図ってまいります。平成28年度は、実践初年度となった米の買取制度で、組合員の皆様から前年を上回る出荷をしていただきました。また農業振興策として、肥料、農薬、飼料の価格引き下げなどに取り組み、担い手支援の金利や手続き面のメリットを盛り込んだ認定農業者支援資金を設立しました。今後も、組合員の目線に立った取り組みを進めるとともに、JAしまねとしての一体感をさらに強固なものとするため、役員一丸となつて改革に取り組んでいきます」と挨拶しました。

は信用事業では利ざやが縮小しましたが、収支計画は前年を大幅に上回って達成できました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。今後は、主要農作物種子法廃止や農業競争力強化支援法の成立に加え、従来からの農政、農協改革、来年には生産調整の見直し、信用事業の厳しさなどへの対応が求められます。JAの総合事業を維持できるかどうか正念場でもありますので、持続可能な農業の実現を、なだスローガンに掲げて頑張っていきます」と、日頃の感謝とともに意気込みを語りました。

座長には松本英雄総代長(松江東ブロック)を選出。JAしまねとくにびき地区本部の前年度の事業報告、新年度の事業計画などについて説明し、各地区の総代から意見、要望が出されました。(別16ページ参照)

こうした意見や要望を踏まえ、くにびき地区本部が組合員の皆様から信頼され満足されるよう、今後も役員一同協力して事業運営にあたって参ります。



山根副組合長



栗原本部長



松本座長

第1次中期経営計画実践初年度 「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」 をスローガンに掲げ事業に取り組みました。

- JALしまね「農業戦略実践3カ年計画」の初年度にあたり、くにびき地区本部の重点深耕施策の実践と重点品目の拡充に向けて取り組みました。
- 営農全般の事業を支援するため営農指導員、農家経営指導員の育成に努めました。
- 各種キャンペーン実施による個人貯金、個人ローン伸長に取り組みました。
- 「3Q訪問活動あんしんチェック」を展開し、JA共済の利用度No.1の堅持と満足度No.1の実現に取り組みました。
- 組合員加入促進運動を実施し、資格変更を含め正組合員は398名、准組合員は815名加入しました。
- 教育文化センター「San・san館」を拠点に、「食」と「農」を基軸とした組合員学習に取り組みました。
- 「家の光三誌(家の光・ちやぐりん・地上)」「日本農業新聞」などの普及拡大に取り組み、協同組合への理解促進を深めました。第67回「家の光文化賞」を受賞しました。

くにびき地区本部 組合員数及び組合員戸数 (平成29年3月31日現在) (単位:人、団体、戸)

正組合員			准組合員			合計	戸数		
個人	法人・団体	合計	個人	法人・団体	合計		正組合員	准組合員	合計
10,278	26	10,304	28,959	133	29,092	39,396	7,844	21,267	29,111

くにびき地区本部 役員員の状況 (平成29年3月31日現在) (単位:人)

役員	合計	正職員					合計
		総合職	専門職	一般職	福祉職	(うち営農指導員)	
常勤理事	3	226	27	41	33	(19)	327
非常勤理事	4						

平成28年度 事業報告

平成28年4月1日
～平成29年3月31日



牡丹切花品評会(4月29、30日 八束支所)



あすっこ定植(10月7日 八雲保育園)

農業倉庫

- ◆米の集荷・検査買入一下佐陀倉庫1,529ト、ライスターミナル「米蔵」1,332ト。

加工

- ◆雲州人参一出荷量180キロ。新規栽培者の掘り起こしを実施しました。
- ◆茶一茶工場取扱量は30.1ト。役員による率先拡販、典礼会葬品利用等の直接販売も継続実施しました。

利用

- ◆育苗一水稻苗は飼料用米苗15,044箱を含めた107,942箱の育苗利用がありました。
- ◆米穀乾燥調製施設一カントリーエレベーター「稲蔵」1,515ト、鹿島ライスセンター199ト、南ライスセンター415ト。
- ◆無人ヘリ防除一水稻364ヘクタール、大豆7ヘクタールの散布を実施しました。

購買

- ◆生産資材一水稻肥料・農薬の早期予約取りまとめを実施。利用高奨励・ポイント奨励を行いました。JAしまね統一特別価格を設定し、統合メリットの創出に取り組みました。全農県域物流による週5日の配送体制を確立。廃棄農薬・農業用廃プラスチックを回収。産直利用者への栽培指導会を開催。農薬の適正使用など安全啓発活動を展開。
- ◆農業機械一訪問活動を強化し、サービス向上と担当者のレベルアップを図りました。

地産地消で食卓に 安心をお届けします!

産直会員数 **1,236名**
産直販売高 **6億6千6百万円**

- ◆水稻一平成28年産米の島根県東部作況指数は「104(全国100)」。7月中旬から8月にかけての天候が高温・多照・少雨に推移し稔実、粒の肥大、充実とも順調であった。出荷申出数量113,757袋に対し、114,752袋(100.8%)の集荷実績。
- ◆野菜一春先の低温の影響により年間を通じた出荷量は減少したが、野菜が高値で推移したことで、年間を通じた販売高は前年より増加となりました。露地重点品目作付面積一キャベツ37ヘクタール、あすっこ1.2ヘクタール、アスパラガス1.0ヘクタール。
- ◆西条柿一5月上旬の暴風の影響により生果は小玉傾向。西条柿「こづち」は県外市場を中心に約42.6トを出荷。「東出雲町特産(畑)干し柿」と「あんぼ柿」は販売額63,669千円。
- ◆椎茸一共振出荷量393.6キログラムと減少したものの、平均販売単価は4,604円/キログラムと昨年同様高値で推移しました。
- ◆牡丹一牡丹鉢花は開花調整期間中、順調に生育し、消費者需要に十分対応する数量を確保する事ができ、出荷量は6,532鉢と前年を上回る出荷実績となりました。苗木用の普通苗の輸出は、生産量の減少により初めて出荷量が20万本を下回りましたが、新規取引先(アメリカ)の開拓等を実施し、販売単価の向上に努めました。
- ◆そば一播種時期である8月が好天に恵まれ良好に発芽したが、開花盛期である9月の長雨や収穫前の台風による実の落下、ヨトウムシの多発により収穫量は39.0ト。
- ◆畜産一子牛価格は依然高値で推移し、子牛出荷頭数は160頭、販売高は126,948千円。生乳販売は105,624千円。鶏卵販売高は35,882千円。

営農指導・販売



くにびき青年連盟が附属小学校児童と田植え(5月12日)

主な農産物販売高

米	816百万円
野菜	1,058百万円
果樹	84百万円
畜産物	309百万円

- ◆JAしまね「農業戦略実践3ヵ年計画」の1年目にあたり、重点振興施策の実践と重点品目の生産販売の拡充に向けて取り組みました。
- ◆JAしまね農業振興支援事業により、担い手経営体の育成・確保、農業生産の拡大等を目的として、35経営体に助成額34,543千円の支援を行いました。
- ◆「経営安定対策」の円滑な事業実施に向け、申請手続きの支援等に積極的に取り組みました。
- ◆新規需要米の栽培面積拡大に取り組み、管内170ヘクタールで飼料米を作付けしました。
- ◆TAC(担い手に向くJA担当者の愛称)による訪問活動を実施し、担い手農家のニーズの把握や、農事組合法人・集落営農組織の組織強化のための支援を行いました。
- ◆農業経営支援として、農業所得収支データ437件、農業簿記データ還元15件のデータ提供を実施しました。
- ◆「つや姫」を担い手中心に面積拡大し、138ヘクタールで栽培しました。
- ◆平成29年産つや姫品質向上緊急対策として、土づくり肥料施用(半額助成)を働きかけ、79経営体に取り組みました。



サンサン女子大おせち料理教室
(12月17日 San・san館)



サンサン女子大トウモロコシ収穫
(7月30日 中海干拓地)



第10回くにびきふるさとふれあいカップ家庭婦人バレー(5月28日 鹿島総合体育館)

共済

長期共済金の主な支払状況

内容	金額	件数
死亡共済金	103,673万円	204件
入通院共済金	36,804万円	2,905件
火災・自然災害共済金	16,136万円	503件

傷害共済は680件で4,037万円の支払いを行いました。

- 絆の強化を目指し、情報提供、未請求案件解消を目的に「3Q訪問活動 あんしんチェック」を実施。13,791世帯のフォロー訪問活動を行いました。
- 魅力あるJA共済の普及に取り組み、長期共済推進総合実績ポイント9,263,986Pを達成。「生命系・医療系・年金・建更・自動車」の純粹新規による重点施策実績ポイント7,916,199Pと普及拡大に努めました。
- 長期共済期末保有高一6,131億4千万円。
- 子育て支援活動として「くにびきキッズなかよし広場」を開催。カーブミラー贈呈や交通安全教室の開催など交通安全啓発に努めました。

組織・広報・教育文化活動・くらしの活動

- くらしの活動—キッズサッカー大会、家庭婦人バレーボール大会などを主催しスポーツ活動を支援しました。
- 教育文化活動—『家の光』三誌及び農業新聞購読運動を展開し、教育文化活動に努めました。
- 広報—組合員広報誌「JAしまねびより」やホームページ等により広報活動を展開しました。
- 女子大学—魅力ある講座の開催を行いました。
- 青年連盟—附属小学校との食農教育・農業体験やふれあい親子いもほり大会を開催するとともに、松江市農林水産祭やまつえ食まつりへ参加し農業理解促進に取り組みました。
- 女性部—教育文化センターSan・san館を核とした「食」と「農」をテーマとした活動を進めました。山陰中央新報社文化センターの特別講座において講師を務め地元農産物利用促進に取り組みました。

旅行

- ◆ 各種部会の視察研修旅行など幅広い利用者層に対応し利用拡大に努めました。

信用

- ◆ 「JAしまね誕生1周年記念・貯金残高1兆円達成によるダブル記念定期貯金」「JAしまね定期積金スプリングキャンペーン」をはじめ、各種キャンペーンにより個人貯金獲得へ取り組みました。
- ◆ 休日ローン相談会(年4回)や住宅、マイカー、教育ローンを中心に推進。貸出金残高515億47百万円。
- ◆ 「担い手サポートセンター」の設置に伴い、営農と信用との一層の連携強化を図りました。
- ◆ 「年金ふれあい感謝デー」を設定し、窓口で粗品やお茶を提供。
- ◆ 総貯金残高1,331億94百万円。
- ◆ 休日の年金相談会、年金指定替キャンペーンの実施。年金受給者14,437名。
- ◆ 住宅ローンの利用者対応、借換の提案を行いました。
- ◆ プレ年金受給者層へは年金予約獲得訪問を行いました(予約実績452件)。
- ◆ 無料税務相談会を実施し、相談業務(62件)に取り組みました。

経営・管理・監査

- ◆ JAしまね第1次中期経営計画(平成28~30年度)実践初年度にあたり、当地区本部における重点実施事項についての進捗管理に取り組みました。
- ◆ Aコープやくも店の改装に伴い、グリーンショップやくもの産直コーナーをAコープやくもにインショップ化し、利便性の向上を図りました。
- ◆ JAしまね総合ポイントカードの積極的な加入促進に取り組み、加入率は99.3%となりました。
- ◆ コンプライアンス・プログラムに基づく行動計画を策定し、コンプライアンス遵守・不祥事未然防止の強化に取り組みました。

福祉

- ◆ 健康管理活動—生活習慣病予防・疾病早期発見に向け、特定健診や大腸がん検診などに取り組みました。農業法人会会員を中心に人間ドック車を利用した検診を実施しました。
- ◆ 利用者から喜ばれ、地域で安心して生活できる福祉サービスを提供。「ひまわりの会」の地域の助け合い活動に対し支援を実施しました。地域活性化を目指し「地域つながりセンター」等関係機関と協力。「地域ケア連携フォーラム」等への参画を通じて地域セーフティネットの構築を図りました。

福祉サービス利用実績/年間

事業所(事業名)	延利用者数
介護相談センター(居宅介護支援)	1,120人
ヘルパーステーション(訪問介護)	8,643人
ひまわりの家(小規模型通所介護)	1,940人
サン・エールたまゆ(通所介護)	10,128人
サン・エールたまゆ(短期入所生活介護)	7,157人

葬祭

- ◆ 葬儀施行件数は650件(うち会館利用は475件)。葬祭会員専用定期積金の普及を展開、3,137人の会員数となりました。

購買事業

- ◆ 燃料—LPガスの関係法令等を遵守し、器具、配管等の計画的な保安調査点検を行い、消費者への安全確保と安定供給に努めました。
- ◆ 自動車—自動車販売実績261台。車検取扱実績986台。エコカーの販売促進と毎週土曜日サービスデーで利用者を拡大しました。
- ◆ 生活—シロアリ工事71,246千円。テレフォンショップ26,748千円。

資産管理

- ◆ 組合員の資産管理及び高齢化対策並びに次世代対策として、資産相談センターを中心に、相続を中心とした相談業務に取り組み158件の相談に対応しました。

基本方針

J Aしまねは島根県の農業・農村・地域全体の厳しい将来予測や情勢変化に対し、1県1 J Aとして力を結集すべく発足し、3年目を迎えました。「人と自然が共生する光輝く未来の創造」を基本理念に掲げ、今年度も統合メリットを追求しながら、各事業の充実を目指し引き続き取り組んでまいります。

特に、今年度は、第1次中期経営計画の第2年度にあたり、引き続き「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として役割を發揮し、「持続可能な農業の実現」と「豊かでくらしやすい地域社会の実現」に向け、本地区本部においても、3カ年の重点実施事項を持続的に展開し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革を着実かつスピード感を持ち、役職員一丸となって勢力的に実践してまいります。

平成29年度 事業計画

平成29年4月1日
～平成30年3月31日

事業方針

① 営農・農業振興

くにびき地区本部農業振興計画(H28～H30)の中で振興方針の四本柱としている、『1.新たな戦略による「農業生産の拡大」(ものづくり)』、『2.地域を支える多様な担い手経営体の育成や担い手のレベルアップ(ひとづくり)』、『3.安心して農業を営む環境の確立による「農業者の所得増大」(しくみづくり)』、『4.「食と農」を基軸とした「地域の活性化」(きずなづくり)』の実現に向けた取り組みを進めます。

③ 信用事業

組合員・利用者のニーズに対応した農業メインバンク機能の強化・生活メインバンク機能の強化・業務基盤強化を図り、全国施策「農業者所得増大・地域活性化応援プログラム」の積極的な活用・PRにより、農業者所得の増大と組合員利用者満足度の向上及び事業利用拡大に向け取り組みます。

② くらしの活動

くらしの活動では、安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性部、青年連盟をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組めます。取り組みに際しては、アクティブ・メンバーシップの確立を目指して、活動の質の向上と参加者の満足度の向上に努めます。

④ 共済事業

普及面においては、地域に根付いた社会貢献活動の実践を行うとともに、地域への保障拡充及び次世代・ニューパートナーへのアプローチ強化を基軸とし、共済事業基盤の維持・拡大に向けた世帯内深耕の実践強化を図ります。

業務面においては、正確・迅速かつ効率的な事務処理を行い利用者サービスの向上に努めます。自動車損調面においては、自動車共済利用者満足度地域No1の実現に向け、迅速かつきめ細かな初期対応と適時的確な進捗状況及び交渉経過の報告を行い、利用者の不安解消に努めます。

主な重点実施事項

- 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指し、J Aしまね「農業戦略実践3カ年営農計画」に基づく、くにびき地区本部の重点振興施策の実践。
- 「担い手サポートセンター」による、担い手の育成への支援強化。
- J Aしまね農業振興支援事業を活用し、関係機関とも連携した振興品目の生産拡大支援対策。
- 米の品質向上に向けた、1.9ミリふるい目導入に対応した大粒米栽培指導の実施。
- 「つや姫」の生産拡大を図るとともに肥料・農薬の統一資料による栽培に取り組み品質向上を図る。
- 子牛価格、枝肉価格の高値を受け、和牛繁殖雌牛の生産性向上対策の実施。
- A コープ・商系スーパーへのインショップによる産直品販売の強化。
- 県全域での取扱い品目の絞り込みによる、主要生産資材価格の引き下げの実施。

- 営農経済と信用との部門間連携による情報の共有と出向く体制を強化し、農業ニーズに即した農業金融情報の提供に取り組む。
- 契約者フォロー活動「3Q訪問活動」を基軸とし、組合員・利用者へ選ばれ信頼されるJ A共済を目指した普及体制の構築を図る。
- 利用者や家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護相談、ヘルパー・デイサービス・ショートステイの各事業に取り組む。
- 「運動」「食事」「健診・介護・医療」を3つの柱に「J A健康寿命100歳プロジェクト」に取り組み、組合員と地域住民の心と身体の健康づくりを支援。
- J Aしまね総合ポイントカードの優遇特典の充実、サービス満足度向上により女性正組合員、新規組合員の加入促進を図る。
- J Aくらしの活動を進め、支店運営委員会などを核とした集落活性化対策、ふれあいの場の創出。
- 第1次中期経営計画におけるくにびき地区本部重点実施事項を中心に実践と進捗管理に取り組む。
- 個人情報保護、不祥事防止に向け、内部管理体制の強化とコンプライアンス体制の徹底を図る。

声 Voice

地区本部総代会で出された主な意見、
要望をピックアップして紹介します。



(川津) 野津治美総代

冒頭、副組合長のあいさつにあった不祥事についての詳細を聞きたい。特に不祥事の概要、対象職員の処分、上司の処分、今後の取組み等について回答願いたい。なぜ刑事事件にしまったのか？解雇の形は？退職金は？「JAはまたか」と言われられないように、しっかりと対応してほしい。

本店

出雲地区本部のラピタ多伎店におきまして、タバコの在庫品を着服していたことが判明しました。着服期間は約1年、被害額は約30万円でした。タバコの仕入れを担当していた職員が自ら棚卸をし、実際と異なる数量を帳簿に記録していました。この件について県に報告し、本店より立入調査を行いました。

処分につきましては、懲戒委員会を開き、解雇処分としました。被害額は速やかに返済されました。また、上司などは譴責と出勤停止の処分を行いました。また、役員については、報酬の一部返上を行いました。

なお、公表については、理事会の決定後マスコミに告知し、5、6社のマスコミで報道されました。また、JAしまねホームページ、広報誌「JAしまねびより」にも掲載しました。また、本件については、弁護士に相談をしながら対応しております。

今後は、6月末の四半期決算では実地棚卸の複数人によるダブルチェックの徹底を指示し、全職員へ再発防止に向けた注意を

行っています。

被害届は出しましたが、本人も認めたため刑事告訴は行いませんでした。解雇については、「諭旨解雇」、「退職金」については減額支給しました。

(川津) 石橋滋総代

(1) 29年度の事業計画について、JAしまね全体で事業利益は700万円で計画され、くびき地区本部では4、300万円となっている。収支の積み上げ方法について説明してほしい。

(2) 大変厳しい計画となっているが、必要経費などを抑える考えはあるのか？

地区本部

(1) 地区本部の事業利益を積み上げた額が、全体の事業利益とはなっていない。ここでは、JA全体での農業振興資金約4億円が別枠となっていますので、地区本部の積み上げがイコールJA全体の事業利益とはなりません。

(2) お示しした事業計画は、本店、各地区本部の事業管理費などの削減を踏まえた計画となっております。

(宍道) 藤内純一総代

(1) 代表監事が非常勤である理由を教えてください。組織の発展としては、常勤監事が代表であるべきが望ましいのではないかと？

(2) JAは、農産物の安心安全に向け取り組んでいくべきであるが、農産物の販売取扱

いの計画が増えているのはなぜか？安心安全に向け取り扱いを少なくしていくべきではないか？

(3) JA内の支店から別の支店に振り込むことが多いが、振込手数料がかかる。同じJAに振り込む場合の手数料が安くはないか？

地区本部

(1) 農協法では、常勤監事を置くことの規定はありますが、代表監事設置を義務付けた規定はありません。現在は監事の協議により、非常勤である監事が代表監事とされています。また、常勤が代表監事となることも可能です。

地区本部

(2) 引き続き農産物の安心安全に向け、取り組んでいく方針です。一方で、肥料農薬などがないと農産物が出来ないという面もあり、いずれにしても使用回数及び使用量を減らしていく方針です。また、JAの利用率アップに向けて取り組んでいきます。さらにGAPなどの推進をしていく方針です。

本店

(3) 為替振込では、同一店舗内での手数料はかかりませんが、他店舗への振込は手数料を頂いております。金利が低い中、手数料の割高感を感じられていると思いますが、全国のJAバンクシステムを利用しており経費もあることから、すぐに引き下げを行うことは出来ません。ご理解



をお願いします。

(六道) 小豆澤康子総代

ガス事業について、集中監視システムを導入されるかどうか？大雪などあり検針出来ないこともあるのではないかと、また、検針する人材も不足し大変ではないか？

地区本部

現在検討しています。導入時期については未定ですが、将来的には集中監視システムは必要と考えています。

(来待) 高木隆夫総代

(1) 農作物の価格については、農家所得向上のため、6次産業化の取り組みのことが記載されているが、昨年と文言が一緒である。どのような生産者対策をするのか？

(2) 有害鳥獣対策としてイノシシの他、ハクビシンなどの被害も出ている。駆除に当たっては、取得の難しい狩猟免許が必要と聞いているが、JAの営農指導員が猟銃免許を取るなど協力して、被害防止に努めてはどうか？

地区本部

(1) 6次産業化については、組織化され取り組んでいます。今後とも行政と一緒にJAも後押しをしていきます。

(2) 年々被害は多くなっています。今後、さらに行政と一体となり被害を把握し、法律に準拠して対応してまいります。営農指導員等の猟銃・箱罠免許取得も、検

討していきます。

(来待) 堅野國満総代

JAには立派な職員もたくさんおられる。私は家族を含めJAのおかげで生活や農業を営むことができた。お礼を申し上げる。

(八雲) 石倉英治総代

平成30年度の生産調整の見直しにあたって今後飼料米の買取りが今までどおりされるのか？野菜などの生産調整に補助金が出るのか？今後営農を進めるにあたって不安に思っている。JAとして早めに情報をキャッチして伝えて欲しい。

地区本部

国は、米の生産調整は見直す、需給調整は引き続き責任を持ってやると言っています。補助金などについては、回答の時期を含め引き続きJA全中を通じ国に要請していきます。

(吾部) 村上幸可総代

(1) 他の地区本部に比べて、米の1等米比率が悪いのはなぜか？検査員の目が厳しいのではないか？

(2) 有害鳥獣が増えている。農業共済や行政も助成があるが、もっと連携しJAも積極的に対策してほしい。

(3) 不稼働資産について処分を進めてはどうか？

(4) せっかく営農指導等の専門資格をとっても、他部署に異動してしまう。いわゆる「た

すぎがけ人事」が多いように感じている。

地区本部

(1) 昨年度、宍道湖を取り巻く平坦地帯の品質は、非常に悪かったです。中干の時期を逸したことで、刈り取り時期が雨でずれたことが品質低下の一因と分析しています。今年度については、ブロック別に看板等を立てて、中干時期と刈り取り時期について周知するなど対策を講じます。米検査については、目合わせ研修も行っており、他地区本部と比べても、検査員については適格だと思っています。また、今年度は交換検査として本店の資格を持っている検査員に来てもらい、検査の質の向上に取り組んでまいります。

(2) 前に述べましたとおり、行政と一体となり、被害状況を把握し、法律に準拠して取り組んでまいります。

地区本部

(3) 不稼働資産の活用につきましては、過去にも様々な取り組みをしましたが、組合員の大切な財産ですので、損をしない処分の方法を今後も検討していきます。また、使っていない資産を貸出等しながら、有効に管理を行ってまいります。

地区本部

(4) 営農指導体制については、極力異動について配慮して指導員の人員を確保し、資質を向上し、人材育成に努め定着化を図ってまいります。

母衣小児童が田植え

くにびき青年連盟が米作り体験を実施



盟友から苗の植え方を教わる様子

当日は、くにびき地区本部の北側にある7アールの水田に集合。野津委員長や盟友が、苗を植えるための線を引く農具「ばばひき」の使い方を披露した後、「根をほぐして3本ずつ植えて」「深さは指の第二関節まで」などと、植え方を指導しました。

苗を手にした児童は、泥に足を取られたり、飛び出した



泥に足を取られながらも苗を植える児童

JAしまねくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月8日、農業の魅力を感じてもらおうと、母衣小学校5年生79名を招いて田植えを行いました。児童は慣れない手つきで苗を植えながら、米作りへの理解を深めました。

カエルに驚いたりしていました。中には、苗を植える拍子に転んでしまい、腰から下が泥まみれになっていた児童もいましたが、苗を植え終わると、満足そうな表情で田んぼを眺めていました。

三島温君（10）は「普段食べているお米がこんなに大変な作業で出来ることが分かった」と話し、三上朔君（10）「初めてで上手く植えられなかったけど、楽しかった」と笑顔で話しました。

今回植えた苗は、盟友らが維持管理し、10月の収穫期には、稲刈り体験も予定しています。



ばばひきも体験

くにびき地区本部と松江市、島根県は6月6日、農業技術を学ぶ「だんだん営農塾」の開講式を、東出雲町のJA中海干拓研修センターで開きました。

営農塾は、新規就農者の拡大と支援を目的に、平成24年度から毎年、受講生を受け入れており、これまで35名が卒業しました。

6期目となる今回は、男女9名が入塾。柿、牡丹、キャベツの3コースに分かれ、地元生産者やJA関係者から指導を受けながら、各作物の栽培技術を学ぶ予定です。



平成29年度だんだん営農塾開講式

就農への意欲高める

だんだん営農塾6期生が入塾

開講式では、土江紀明塾長（松江地域農業再生協議会担い手部長）が「栽培技術を習得してもらい、農業の魅力と楽しさを肌で感じてほしい」と激励しました。

開講式の後、受講生は、中海干拓地の牡丹畑やキャベツ畑、東出雲町内にある柿園を訪問。牡丹コースの受講生は、露地栽培されている苗木を見学し、シャクヤクと牡丹の接木の仕組みや性質などについて学びました。

参加した藤原富美子さんは「自分の畑で牡丹を本格的に栽培するために、営農塾で専門的な知識をしっかりと学びたい」と意気込みを語りました。



牡丹の苗を見学する受講生ら

サンサン手芸教室

コケリウムづくりを体験

くにびき地区本部は6月21日、サンサン手芸教室を、教育文化センターSan・sanで開きました。地域住民ら19名が参加し、コケを使ったインテリア「コケリウム」を、好みのデザインで作りました。

透明のガラス容器などに観葉植物を植えて楽しむテラリウムの中で、コケを使用するものを「コケリウム」と称します。山野草やコケを



真剣な表情でコケリウムを制作する参加者

使って手軽に制作でき、上手く管理すれば、1〜2年は持つことから、近年、幅広い年齢層で人気を集めています。

今回は、トヤマシノブゴケなどの広く分布しているコケを使い、大文字草とアイビーを飾り付けました。グリーン店の職員が指導役となり、「コケはしっかりと押さえつけて植えて」「長くもたせるためには肥料をやり過ぎないこと」などと、参加者に教えていました。

最後に、白石と金魚の飾りを取り付けて完成。参加者は「季節感があつてかわいい」「簡単にできてよかった」と、仕上がりに満足そうな声を上げていました。

江藤喜代子さんは「初めて作っただけで、以外に簡単に作る事ができたし、可愛らしく仕上がって楽しかった。またやってみよう」と、感想を述べました。



消防操法大会が開催 くにびき地区本部が ホースを贈呈

消防団員の動作の速度と正確性を競う「松江市消防操法大会」が6月25日、島根県消防学校で開かれました。くにびき地区本部は、消防団の活動に役立ててもらおうと、優勝チームに副賞としてホースを贈呈しました。

大会には、消防車からホースをつなげて放水する「ポンプ車の部」と、ポンプに1本のホースをつな



副賞のホースを贈呈する越野部長



放水の技術を披露する消防団員

げて放水する「小型ポンプの部」に、合計14チームが出場。号令から放水的を倒す時間や、動作の正確さなどを競いました。

ポンプ車の部では、玉湯方面団が優勝。小型ポンプ車の部は美保関方面団が優勝しました。大会後の表彰式で、越野浩昭総務部長が、優勝に輝いたチームの代表者にホースを手渡しました。

ポンプ車の部の上位2チーム、小型ポンプの部の上位3チームは、7月30日に大田市で開かれる県大会に出場します。

くにびき青年連盟総会が開催

JAしまねくにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月2日、松江ニューアーバンホテルで第28回通常総会を開きました。

当日は、盟友とJA関係者ら40名が出席。冒頭の挨拶で、野津委員長は「女性部との交流、小学校との食農活動や地域のイベントを通じ、横のつ



活動計画を報告する盟友



あいさつする野津喜洋委員長

ながりの大切さを感じた。ひとりでは出来ないことも仲間となら出来る。今後も仲間作り運動を続けていきたい」と、意気込みを語りました。

総会では、朝酌地区の三浦広志盟友を議長に選任。前年度の活動報告や今年度の活動計画と収支計画案など、全議案が承認されました。

今年度の活動計画では、子どもを対象とした農業体験や仲間づくり運動の推進、地産地消の推進などに取組みます。また、婚活イベントの開催やSNSを活用した情報発信なども展開する予定です。

青年連盟と女性部、女子大が連携

サツマイモの苗植え



総勢50人で苗を植えた



女子大メンバーも苗植えに参加



くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）とくにびき女性部（中島和子部長）は6月10日、農業の魅力を広く知ってもらおうと、サンサン女子大のメンバーと協力して、東出雲町の中海干拓地にある畑に、サツマイモの苗を植えました。

苗植えは、秋の「ふれあい親子いもほり大会」に向けて、毎年開かれており、今回で28回目となります。

当日は快晴の下、盟友や女性部員、サンサン女子大の学生のほか50名が苗植えに参加。女子大の講座も兼ねており、学生は営農指導係の職員から育成方法について講義を受けた上で、苗植えに臨みました。

JA中海干拓研修センターの付近で、マルチを施した畝（約100メートル）が並びます。参加者は、火ばさみで苗をはさみ、土に差し込むように植えていき、イモが大きく育つようお願いされました。

植えた品種は、パープルスイートロード、クイックスリート、紅東、あいこまちなどで、合計4千本の苗で、野津委員長は「協力して上手く植えることができた。秋の収穫が楽しみ」と話しました。

参加した北野久美子さんは「思ったより大変だったが、自分の植えた苗が育つか楽しみ。ツル返しをやってみたい」と、秋の収穫に思いを馳せました。

地域の元気下



山代町 諏訪 智子 さん

湖東中学校の裏手にある一軒家の周辺には、約150平方メートルのハウス5棟が整然と並んでいます。生徒たちの元気な声が聞こえてくるハウスの中で、自慢のモロヘイヤに水やりをする諏訪智子さん。「自分でできることを少しずつ増やしていきたい」と語り、母から受け継いだ畑、技術、人脈を受け継ぎながら、野菜づくりに励みます。

農家への転身

山代町内に代々続く農家に生まれ、幼少期から自然と農作業を手伝ってきました。高校卒業後は東京の短大に進学し、保育について学びました。20歳で帰郷とともに、地元銀



諏訪さんが栽培したモロヘイヤ、トマト、キュウリ



キュウリの育ち具合を確認する智子さん

したこともあり、「親が残してきた畑を絶やせない」と考え、夫婦そろって専業農家として歩みだしました。

母から受け継いだもの

智子さんが最初に育てたのは、「ストック」や「トルコギキョウ」などの花。現在は栽培していませんが、順調に出荷量を伸ばしたそうです。現在、主に育てているのはトマト、モロヘイヤ、ホウレンソウ、スイートコーンなどです。

また、中海干拓地では、成治さんが給食用のタマネギを5〜7トン収穫しています。

智子さんが栽培する野菜の中でも、特に思い入れが強いのがモロヘイヤ。智子さんの母親は、数十年前、まだ馴染みの薄かったモロヘイヤの生産を根付かせようと、近隣の農家と連携し、生産者グループを発足。安定生産を確立し、JAグリーンや地元スーパーに出荷して

行に就職。27歳で、成治さんと結婚しました。

小さいころから農作業を手伝ってきた智子さんですが、「実は農業にそれほど関心があつたわけではないです」と明かします。

しかし、平成12年に、仕事が一段落

いました。

グループは現在も存続しており、母と交替する形で、智子さんが入りしました。当初はモロヘイヤづくりに四苦八苦しましたが、先輩メンバーに教えてもらいながら、徐々にこつをつかんできました。気温が高くなる夏場は、頻繁に水を与える必要があり、毎日のように目を配ります。「少しずつ収穫量が増やしていければ」と、今後を見据えます。

趣味のバレーで息抜き

忙しい農作業の傍らで、息抜きとしていのは中学校時代から続けているバレーボール。監督として、マスターズ全国大会に出場した経験があるほどで、「いい息抜きになっていると思います。だから家事も農業も頑張ることができず」と笑顔を浮かべます。

モロヘイヤの葉を眺める智子さんは「少しずつ」という言葉を繰り返します。くにびき女性部の役員と同女性部津田支部の副支部長も務める中で、「自分ができることを少しずつ増やすことが、いろんなことを長く続けられること」と力を込めます。先祖と親が育んだ畑をこれからもしっかりと受け継いでいきます。



中海干拓で育ったタマネギ



お便りコーナー

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介します。

各地域で後継者不足により、雑草地帯が広がっています。JA Aさんの力をお借りして、豊かな土壌を再生したらどうでしょう。私は数年来、ウメ、ミカン、ハッサクなどを育てていますが、中でもミカン、ハッサクは、より良い管理方法を身につければ、温暖化の影響もあり、量産が見込めると思います。ご指導ください。(T・H)

沖縄で島根県産の「つや姫」が売上げトップの人気商品であることを知り、島根のお米がそろそろ評価されていることに驚きと嬉しさを感じました。(C・S)

桜江町でスナッフエンドウを生産し、広島市場にも出荷されている佐々木さんの記事を読みました。小さいころに農業を手伝い、大人になってからは自身で農業をしておられ、感動しました。今後、も夢のある農家が増えるといいと思います。(Y・K)

「いちごカレー」の記事を見てびっくりしました。どちらも好きな食べ物で味が気になります。インパクト大ですね。価格が高めなので、特別な日に買って食べたいカレーだと思いました。(M・M)

JAしまねくにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



梅の甘露煮

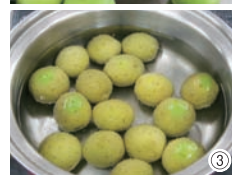
盛夏の、とっておきのおもてなしにピッタリな手作り冷菓です。梅の酸味がまろやかな甘みと溶け合った、大人の和風スイーツ。さわやかな口当たりに、しばし暑さも忘れさせてくれます。梅が店頭にたくさん並ぶ頃、たくさん作って保存しましょう。

【材 料】

- ・梅……………500g
- ④ 〔・砂糖…300g ⑤ 〔・塩…1/2カップ
- 〔・水……500ml 〔・水…500ml

【作り方】

- ①青梅は水洗いし竹串でへたを取り、木綿針で等間隔に穴をあける。穴は梅1個につき15～18か所、種に届くよう刺す。
- ②一晩⑤の分量の塩水につける。
- ③ざるに梅をあげ、浅鍋に梅を入れる。ひたひたの水（分量外）を加えて火にかけ、弱火で15分泡がブツブツ出始めたら火を止め冷ます。
- ④冷めたら茹で汁を捨て、一晩すじ状の流し水にさらす。
- ⑤梅をあげ鍋にそっと戻し、④の砂糖と水を加えて15分弱火にかける。泡がブツブツ出始めたら火を止め冷ます。これを5回繰り返す。
- ⑥完全に冷めたら、容器に梅を1個づつそっと入れる。果肉がぐずれやすいので、丁寧に扱う。煮つめた煮汁を静かに注ぐ。
- ⑦ふたをきっちり閉めて冷蔵庫で保存する。



今月の料理人

東出雲支部

須山

絃美さん



梅の形をくずさず、ふっくらと美しく仕上げるには、すべての過程において細心の注意が必要です。ほうろろ鍋で作ると、色良く仕上がります。

2～3日おくと味がなじんでまろやかになります。冷蔵庫で半年保存できます。保存容器は広口のもののが最適です。

サン●サン 料理教室

日時 8月25日(金) 10:00～13:00

※定刻より開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。
爽やかな酸味は料理を確実においしくしてくれます。エコーブの酢を使い、新しいメニューに挑戦！残暑を乗り切りましょう！

8月のメニュー 残暑を乗り切る！<さっぱりレシピ！>

- ★簡単混ぜ寿司 ★鶏むね肉のみぞれ南蛮 ★さっぱりマカロニサラダ
- ★酸味のスープワントン ★はちみつレモンゼリー (都合により変更させていただきます)

募集人数 20名程度 組合員、利用者、松江市民を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,000円(当日徴収いたします)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 平成29年8月18日(金)



参加者募集!

サン●サン 手芸教室

日時 8月23日(水) 14:00～16:00

家の光記事を参考に、みんなで楽しくかんたんハンドメイド！一人では出来ないことも、みんなで克服！講師がやさしく指導します

8月の内容 『風呂敷で作るあずま袋』

1枚の布を裁って合わせて、まっすぐに縫うだけでできるあずま袋。ちょっとしたお出掛けに小さくたたんでエコバッグにしたり、基本の作り方や使い方は自由です。

募集人数 20名程度

参加費 800円(材料費を含みます)

準備品 風呂敷(68cm)1枚、手縫糸、縫い針、待ち針、はさみ、鉛筆、物差し

申込締切 平成29年8月17日(木)



風呂敷から作るあずま袋

場所 くにびき地区本部San・san館
松江市西川津町1635-2

お申込み/お問合せ

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、はがき・FAX・Eメールでお申込みください。
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 JAしまねくにびき地区本部 総務部ふれあい課
TEL: 55-3018 FAX: 32-6870 Eメール: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

Pizza婚

2017
7/29 (土) 10:00~14:00

受付時間 9:30~

若手農家さんが育てた地場の新鮮野菜をトッピング!

素敵な出会いはピザ婚で!

場所 JALしまねくにびき地区本部San-san館
松江市西川津町1635-1

対象 松江市在住の男女で各15名(合計30名)
応募者多数の場合は抽選により決定します。

参加料 男性2,000円 女性1,000円

持参品 エプロン・三角巾・マスク

お申込み JALしまねくにびき地区本部ふれあい課(くにびき青年連盟事務局)
〒690-0823松江市西川津町1635-1
TEL0852-55-3018 FAX0852-32-6870
E-Mail:community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

主催: JALしまねくにびき青年連盟

JALしまね くにびき地区本部特別協力
組合員限定価格で入場券販売中!

組合員限定前売入場券 (自由席)

[前売券取扱期間] 2017年5月1日(月)~8月6日(日)

大人 2,300円 (高校生以上) 通常2,500円・当日2,800円
子ども 1,000円 (3歳から中学生まで) 通常1,200円・当日1,500円

※組合員とは、組合員と同一世帯に属する家族を含みます。
※組合員以外の方でも、ご出資(1口1,000円)戴ければ、組合員価格を適用します。
※大人…高校生以上、子ども…3歳から中学生まで、2歳以下は膝上無料です。

●取扱店: JALしまねくにびき地区本部の支店・出張所・ふれあい店・JAグリーン・グリーンショップ・自動車センター・金融業務課・ふれあい課

お問い合わせ先/ (平日8:30~17:00) 総務部ふれあい課 TEL:0852-55-3018

ポップサーカス 松江公演

2017 7.1 sat ▶▶ 8.27 sun

土曜(8月5日除く)とプレミアムフライデーはナイターショー開催!!

JALしまね サマーキャンペーン2017

SUMMER CAMPAIGN 2017

キャンペーン期間 2017年 6月9日(金)~8月31日(木)

期間中、定期貯金(20万円以上)を新規でご契約いただいた方の中から
抽選で300名様に「島根県産お肉の詰め合わせセット」をプレゼント!

※ご契約額20万円につき抽選権を1口付与します。

期間中定期貯金を新規でご契約いただいた方へもれなくプレゼント!

10万円以上 20万円未満 フロストボーイ

20万円以上 クーラーバッグ&アイスバック

懸賞要領

対象商品 / 定期貯金(期間1年以上)、結いの恵み
※お乗せ金利の適用があるものを除きます。※窓口でお預け入れいただいたものに限ります。

応募対象者 / 期間中、定期貯金を新規(または増額)で20万円以上、または、結いの恵みを新規で契約された個人の方。

賞品内容 / 300名様に島根県産お肉の詰め合わせセットをプレゼント(5,000円相当)
Wチャンス賞:上記にはずれた方の中から抽選で200名様にご当地カレーセットをプレゼント(2,000円相当)

応募方法 / 対象商品ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。
以下のいずれかの取引がある方は抽選権を2倍とします。
給与振込・年金振込・JAカード(例)預入金額50万円→上記取引なし2口 あり4口

当選発表 / 平成29年9月下旬頃、ご当選された方に対し当選通知をお送りします。

抽選権の失効 / 抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。

個人情報取扱 / 取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。

懸賞賞品のご案内

300名様に 島根県産お肉の詰め合わせセット (5,000円相当)

〈セット内容〉
・しまね和牛肉(250g) ・ふかわのハーブ鶏(210g)
・島根県産豚肉(210g) ※()は予定数です。

Wチャンス賞 200名様に ご当地カレーセット (2,000円相当)

〈セット内容〉
・あらえっさぐらうまカレー 1個 ・奥出雲和牛カレー 1個
・さざりカレー 1個 ・トマトカレー 1個

8月 くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・備考
3	木	税務相談会	法吉支店 TEL:21-3690 10:00~12:00
4	金	税務相談会	中原出張所 TEL:21-2567 10:00~12:00

○くにびき地区本部ローン営業センターでは、毎週土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談会を開催しています。お気軽にお立ち寄りください。

◆お問合せは☎0120-988-380まで。

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いいたします。(予約先)開催会場となる支店まで。

くにびき地区本部情報



秋から春先まで、 新鮮な味と 栄養価が魅力的な ブロッコリー

板木技術士事務所 ● 板木利隆

抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

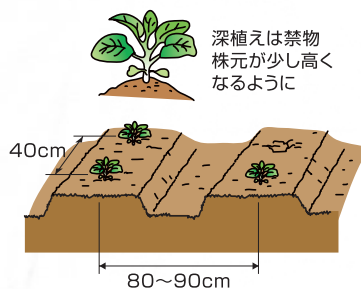
家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾（ちょうからい）だけでなく、側花蕾（そくからい）も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬です。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ころまで長期間収穫できます。

育苗は128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3~4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3~4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げ、本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよせず、遮光ネットなどで覆い、灌水（かんすい）は朝夕にたっぷり与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。

保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10~12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5~7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。



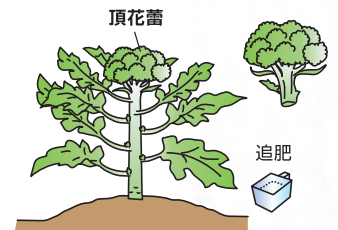
根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、株元が低くならないよう、特に多雨後の排水に注意してください。

茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当りの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

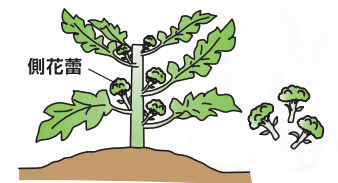
頂花蕾は径12~13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減

るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4~5cmほどで収穫します。いずれも蕾（つぼみ）が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。



株の周りに追肥して勢いをつけ、良い側花蕾を出させる



小さいがまとめて使えば味に遜色はない

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑬木などにぼっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑲目上の人に勧める席
- ⑳アンデス、プリンスといえ

ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑲歩き過ぎて足の裏にできちゃった

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			B			
	6			15		D
2			12		19	21
		10		16		
			C			
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						E

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成29年8月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆
「カブトムシ」

ユ	カ	タ	ミ	ア	イ
ウ	カ	ウ	ツ	シ	エ
シ	オ	ド	キ	タ	イ
ヨ	ア	ブ	ラ	ニ	
ク	ラ	ク	チ	バ	シ
ム	シ	ロ	ソ	ヤ	
キ	ネ	ン	ボ	ト	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散歩
JA島根厚生連

水中ウォーキングで夏だって気軽に運動

日々、暑さと戦う季節になりましたね。暑さをアイスクリームや冷えたビールなどでごまかしてみても、気の紛れるのはその一瞬だけ。冷房の効いた部屋の中でついついゴロゴロしていて夏太り……。ここは一気に夏バテと暑さの両方を解消しちゃいましょう。涼しくなって、健康になる。おまけにシェイプアップも出来ちゃうかも!? こんなおいしい話というのは行水と健康づくりを兼ねた水中運動をすることです。中でも泳ぐのは苦手という方も気軽にできる水中ウォーキングはいかがですか？

水中ウォーキングは、地上でのウォーキングに比べ水の浮力のおかげで体重が最大70%も軽くなると言われており、膝や腰への負担が大きく軽減されます。さらに、水の抵抗がかかるために普通に歩くよりも消費カロリーが多くなるのも嬉しいところ！

水中ウォーキングでの注意点は、水の抵抗を受けるために、上半身が反り返りやすくなること。これを防ぐには腹筋を締めて上半身をやや前傾にして歩くようにしましょう。そして、下半身は膝を少し曲げて重心を落とし、足裏全体で水底をつかむように踏ん張って歩きます。腕もクロールのように前から後ろへ水をかくことで前方へ進みやすくなります。水底は滑りやすいのでスリッパに注意してください。

また、水中運動の場合でも、運動量が多いときは体温が上昇し発汗しています。水分不足にならないように水分補給を心がけてください。

楽しく続けるためには、最初はやや楽に感じる、物足りない程度からスタートし、徐々に時間を伸ばしていくことが大切です。暑いこの季節には、水中が気持ちよくついつい時間が長くなったり、浮力で楽に歩けるので歩き過ぎになつたりと、過疲労にならないことがあるので、少しずつ自分の体と相談をしながらはじめましょう。水中ウォーキングで暑さを紛らわし、暑さに負けない体作りをしてみませんか？



理事会情報 (5月30日開催)

監査報告

平成28年度決算監事監査報告について

協議事項

- ①平成29年度国庫及び県単補助事業の実施について(追加)
- ②大口貸出金の承認について
- ③体制整備基準における「効率化店舗」の設置・運営に係る要項設定について
- ④島根県常例検査書の回答について
- ⑤JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
- ⑥組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑦経理規程の一部改正について
- ⑧平成28年度決算の承認について
- ⑨第3回通常総代会への附議議案について
- ⑩本店子会社等の役員への役員職員の推薦について

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

報告事項

- ①平成28年度農業戦略実践3カ年営農計画進捗状況について
- ②ふるい目更新に伴う県単事業・JA支援事業の活用について
- ③農業経営管理支援事業(経営コンサル)の平成28年度総括および平成29年度実施計画について
- ④県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第4四半期)
- ⑤農業防災保険の加入状況について
- ⑥平成29年度島根米食味向上(特A獲得重点

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

知って納得JA
—協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにするこことで、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要ときに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域のみらい。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

株式会社 **コダマサイエンス**

■本社/島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■江津営業所/☎0855-52-6852

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■隠岐営業所/☎08512-2-2471

そなえていますか?

クミアイのおくすり



かぜ、胃腸の不調、小さなケガや
軽い症状は自分で治しましょう。

それが、セルフメディケーションです。

(自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること)



「クミアイ家庭薬」のメリット

- 使った分だけ後払い、家計にやさしく経済的!
- 期限の切れそうな薬も、無料でお取り替え
- 季節やご家族のニーズに合わせて補充
- 災害など緊急時にも安心の常備薬!
- クミアイ家庭薬で「明日はもっと健康に」



A-COOP **クミアイ家庭薬**

お問
い合
わせ
先

JAしまねの各支店 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430

JAグループ

きゅうりと鶏むね肉の中華風



電子レンジを使いサツとできあがります。暑い夏に酢とごま油であっさりした味なので、いくらでもキュウリがおいしく食べられる一品です。きゅうりは、ほった体を冷やしてくれます。

●材料 (4人分)

鶏むね肉……………	1枚 (約300g)	醤油……………	大さじ1
塩、こしょう……………	適量	酢……………	大さじ1
酒……………	大さじ1	ごま油……………	大さじ2/3
きゅうり……………	2本	黒ごま……………	大さじ1

●作り方

- ①きゅうりは3~4等分に切り、縦に4等分の棒状に切り、塩を少し置き、水洗いして水気を絞る。
- ②鶏肉に塩、こしょう、酒をふりラップをしてレンジに5~6分かける。火が通ったら手で一口大にさく。
- ③ボールに調味料を合わせ、鶏肉を混ぜ込み味をなじませてから、きゅうりを入れ和える。

トマトつけだれ・そうめん



トマト入りのそうめんつゆなので、色が綺麗でトマトの旨みも加わり、そうめんがいくらでも食べられます。洋風イメージのあるトマトを、和風でさっぱりといただける涼麺メニューです。

●材料 (4人分)

そうめん……………	6~8束	トマト……………	中4個
きゅうり……………	少々	水……………	400ml
薬味		ほんだし……………	小さじ1
大葉……………	5枚	みりん……………	大さじ4
みょうが……………	2~3個	しょうゆ……………	大さじ3
おろししょうが……………	少々	塩……………	小さじ1
白ごま……………	少々		

●作り方

- ①トマトは皮を湯むきして種を取り1cm角に切る。
- ②水、ほんだし、しょうゆ、みりん、塩を沸騰させ火を切り冷ます。
- ③冷えたらトマトを入れ冷蔵庫に入れ冷やす。
- ④きゅうりは千切りにする。
- ⑤みょうが、大葉は千切りにして薬味にする。
- ⑥そうめんをゆで、皿に盛りキュウリを添える。
- ⑦薬味とトマトダレをつけて食べる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、島根県西部を流れる高津川の鮎釣りの様子です。高津川は、水質日本一に何度も選ばれている全国屈指の清流で、日本で唯一ダムが無い一級河川としても有名です。また、高津川の鮎は薫り高く美味で人気があり、シーズンには全国から釣り人が訪れます。

編集後記

今月の表紙に描いて頂いた鮎釣り。私の父も昔から鮎釣りをしており、子供の頃からいつも食べさせてもらっていました。塩焼きや背ごし(刺身)、鮎ご飯など、とても美味しいですね。私も一度だけ友釣りに挑戦しましたが、難しいものでした。(藤)



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。